

11	場所は変わっても、大志の道はつくった方が良い。	特に気にしない。	グラウンドが見渡せる位置にあった方が良い。	校舎の中心にあった方が良い。	<p>どういう構造・設備配置がなされても、子供達の世代間交流が頻繁になされるものとなっていることが理想型だと思う。経験から言えることだが、中学最上学年はどうしても先輩風を吹かせ下級生に威圧的言動を人目をはばからず発することが多々あった。また、いじめは同学年の中で力の優劣を起源として始まり、根深く閉ざされた環境の中で増幅されていくことが典型的とも言える。世代間交流の幅が狭いと、上下間の威圧萎縮が生じ易く、いじめの発生も促し易い。せっかく小中一貫校を新設するのならば、小学生の教室と中学生の教室を出来るだけ混同させて、世代間交流が日常風景となるものがこれからの理想教育に繋がるのではないかと思う。また、トイレや更衣室などの極小閉鎖空間は目立たない事を悪用して悪事の温床になり易いので、広く明るく、固定的使用にならないような、安らげる環境に仕上げる事を期待したい最後に中学生には、多少のプライベートスペースを設けてあげて欲しい。交流盛んが望ましいものの、中学生ともなると自我の芽生えから、独特の個性が形成されるようになると思うので、個々のこだわりも尊重出来るようにしてあげたい。個人用の下駄箱やロッカーはセキュリティを個々でしっかりと管理出来るようにして、个性的に活用出来るようにしてあげて欲しい。いたずらで物品紛失などが頻繁するようになると、いじめに繋がりが易くなるので、そういう面からも設備配置の工夫を願いたい。</p>	引き続き、基本設計を進める中で、学校運営の視点や必要経費等を踏まえ、頂いたご意見を参考にして、蒲原地区小中一貫教育における学校教育目標を見据えた学校施設の整備を検討していきます。
12	その他「大志の道」が優先順位が高い事項だとは思いません。アンケートの第1問にあることにも違和感さえ覚えます。地元の方の意見分かれていますことなのでしょうか？「他の事項がクリアしてその上で設置できるならば」と考えては如何でしょうか。	その他利用者の利便性や安全などを大切にしたいと思います。昇降口は児童生徒約500人が非常時でも安全に通過できるようにしたいものです。複数個所に分けての設置が適当かと思えます。また、来客者にとって玄関が分かりにくい学校が現在も市内で散見されますが、訪問しにくいだけでなく安全上の課題も感じます。来客の動線にも配慮がいくよくなればよいと考えます。	その他地域交流室という今回の一つの目玉は、設置目的や機能面を考えて、周辺にどんな教室を配置するかが大切になるのではないかと考えます。正門から近い方がいいだろうし、グラウンドが見渡せれば富士山も見えてさらにステキでよいと思います。使い勝手を考えて、閉塞感の無いスペースがオープンな活動を誘発するような施設であることを望みます。	地域交流室と連携できる位置にあった方が良い。	<p>これまでも申し上げてきましたが、 1 進め方をもっと市民にオープンにして欲しいと感じております。令和4年度第1回統合準備委員会が6月8日に実施されたとのことですが、この会は傍聴できない閉じた会でしょうか？ 第2回は7月末にあったようですが、このアンケートとの関係はどうなっているのでしょうか？ 第1回の内容は資料2では「新しい学校で目指す子ども像やどのような学校を望むか」や「地域へ行ってきた説明会など」について報告があったとのこと。せめてどんな報告がなされたのかを公開しては如何でしょうか？</p> <p>2 蒲原地区のまちづくりを静岡モデルとして！という大胆な発想を期待します 中山間地の小中学校統廃合事業とは別レベルでの事業を進めているのだと思います。静岡市に新しい施設一体型小中学校が作られる！ということではないでしょうか？ 安倍川中学校区でも地域から統合の要望が出ていたと聞きました。 蒲原地区を静岡市の東口の玄関としてとらえ、現在蒲原地区で進められている（られようとしている）事業とも連携して、まちづくりの視点を大切にして欲しいと思います。統合準備委員会では意見が出されているのだろうと推測しますが、公開されませんの的外れなことを言っているのかもしれませんが、残念です。静岡市全体で考えていく事例として大きな扱いが必要ではないでしょうか？ ①静岡市の人口減少に歯止めをかける、子育て世代の流入移住も同時に考える ②新富士駅まで車で15分の地の利をいかした首都圏との連携を構想に入れる ③子育ては、妊娠前から始まり、小中学校は大きな課題ではあるが、幼児教育との連携は欠かせないこと。幼小連携は蒲原の強みとしてもっと前面に出していいのではないかと感じています。 ④蒲原地区の持っているポテンシャルを最大限引き出すような義務教育を創造するためにも、福祉や生涯学習、こども未来局や学校教育課などの各部署と連携して進めること</p> <p>令和7年度の開校を想定して進められていると伺いました。一度建てられた校舎は、数十年間は手が入らないことが想定されます。7年度に開校しなくてはならない事情があるかはわかりませんが、丁寧な検討と説明を繰り返して、多くの人に待ち望まれる小中学校をつくっていただく。結果的に令和7年度がずれ込んで仕方がないのではないかと感じます。</p>	<p>1. 今後、蒲原小中一貫事業に関する情報は、随時静岡市ホームページで公開するなど、情報発信を心掛けていきます。</p> <p>2. 頂いたご意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。なお、「蒲原小中一貫校校舎建設基本計画」に記載のとおり、蒲原小中一貫校は令和8年度開校を予定しています。</p>
13					<p>1. 大志の像、大志の道に関して 学校設置の一番大切なことは、設置する学校の教育の理念（教育の目標）であります。蒲原中学校には、創立40周年を期して当時の学校関係者及び日本軽金属の多大な協力をいただいて「大志の像」「大志の道」が設置され、当校の教育理念とシンボルとして引き継がれてきています。是非ともこれを現地に引き続いて設置していただきたい。</p> <p>2. 基本設計における教室等の配置について 校舎・教室等の配置については、B案の配置を基本として、C案を加味しながら配置の再検討案をお願いしたい。 (1) 特に、玄関、事務室、校長室は学校の顔であり、正門から正面に当たる場所をに連続した位置に配置してほしい。 (2) B案の「地域交流室」の位置は勿体ない場所と思います。ほかの場所を検討し、会議室を兼ねて設置すると良い。地域交流室の大きさ、生徒相談室、会議室の数など設置する室内配置については十分検討の余地があると思います。 (3) 校長室と職員室は離れて設置してもよい。職員室の管理運営は教頭の職、校長の職は学校全体と対外的な職と考える。勿論、校長と教頭の連携密なることを要します。 (4) 小学部と中学部の関係で、教頭は2人制とするか1人制とするか、職員室の中の配置も混合とするのか小、中で分けるのかで職員室の数や大きさが変わってくると思いますが、 (5) B案のテラスは無くても良いのではと思います。富士山の眺望はグラウンド出れば見られますから校舎内からの眺望はあまり考慮しないで、部屋の配置を考えた方がよいと思います。 (6) 児童、生徒の動線がスムーズに行えるよう部屋の配置を検討していただきたい。</p> <p>以上、小生の高校、大学、専門学校等設置の経験から、思いつくままに書かせていただきました。ご検討いただけましたら幸いです。</p>	<p>1. 「大志の像」「大志の道」については、可能な範囲で残しながら、樹木や植栽も有効活用していきたいと考えています。</p> <p>2. 統合準備委員会及び蒲原地区の皆さまから募集したご意見を踏まえ、建築及び学校運営の視点を含めて総合的に検討した結果、【C-2案】を、新校舎のベースプランとし、設計を進めていくことに決定いたしました。ご意見ありがとうございました。 引き続き、基本設計を進める中で、学校運営の視点や必要経費等を踏まえ、頂いたご意見を参考にして、各室の配置やつながり、動線などを検討していきます。</p>
14	場所は変わっても、大志の道はつくった方が良い。	正門から見やすい位置にあった方が良い。	正門から見やすい位置にあった方が良い。	地域交流室と連携できる位置にあった方が良い。	小中一貫校舎建設プラン、どれもすばらしく今後の蒲原の礎になればと思います。地域に開かれた学校として共生社会の中で、ぜひバリアフリー、ユニバーサルデザインを活用していただければと思います。誰でも地域で通える学校として、また地域住民が生涯学習のために、エレベーター設置により車イス利用の方も備え利用できる一貫校であることを望みます。	引き続き、基本設計を進める中で、学校運営の視点や必要経費等を踏まえ、頂いたご意見を参考にして、インクルーシブに配慮した施設整備を検討していきます。
15	現在の大志の道を、できるだけ残した方が良い。	大志の道と繋がっている方が良い。	グラウンドが見渡せる位置にあった方が良い。	校舎の中心にあった方が良い。	2階北側の東西デッキテラスから地上のテニスコート側面（東）および西側の芝生+デッキテラスに外部階段を設置し、非常時避難階段として欲しい。	地域防災・避難の観点については、基本設計を進める中で、学校運営の視点や必要経費等を踏まえ、頂いたご意見を参考にして、新しい学校にふさわしい施設整備を検討していきます。